

— 労働者の生活の脅かすものは何か？ —
— 臨時工は何處へ行く？ —

労働者の生活を守るのは
労働組合のみ！

資本家の悪辣な我儘を見よ！

政府が労働者保護、救済の立場から労働組合法、労働者退職手当積立法、労働条件協約法その他労働者の福利を圖るいろいろの法律を作ろうとすると、資本家団体は何に故か如何なる場合にも常習的に、これに反対し、政府の意見を壓迫し邪魔をしてゐる。資本家が反対する理由を聞いてみる。

「資本家と労働者の間は親子同様の情義で結ばれてゐるのであるから、資本家には自分の使つてゐる労働者を保護、救済する義務があるとか、或は労働者にはこの保護、救済を受ける権利があるとか言ふ風に、法律を作つて決めるのは甚だ怪しからぬ」と言つて、政府が労働者のためになる法律を作ろうとする度毎に反対してゐる。この資本家団体の反対は資本家の營利のことだけしか考へぬ我儘勝手な反対である。日本は建國以來三千年、畏れ多くも天皇と國民の間は一大家族主義で、君民一如（君と